

若者とソーシャルを結ぶデジタルフリーマガジン

alterna **× S**

Apr.
2011
vol.1

特集 東日本大震災 若者たちの支援

3.11

僕らも目覚め、
動き始めた。

巻頭インタビュー

prayforjapan.jp 企画・制作者

鶴田浩之

Facebook で5万人の心を
揺さぶった20歳の大学生





足りない物あったら言ってとよく言われるが、
「津波で亡くなった親友」とは
本心なんだけど言える訳がない…。

(syain_tasuku) on Twitter

ここに新しい故郷をつくるんだ。思い出に負けない故郷にするんだ。

04

オルタナ S への参加方法

05

オルタナ S 宣言

06

オルタナ "S" youth

Facebook で 5 万人の心を
揺さぶった 20 歳の大学生

prayforjapan.jp 企画・制作者

鶴田浩之

つ る だ ひ ろ ゆ き

Apr.
2011
vol.1

09

そのとき、若者はどう動いたか？

被災地レポート ～現状と被災地での支援～

そのとき、
若者はどう動いたか？

追悼 prayforjapan ～希望のメッセージ～

twitter 拾い読み



15

オルタナティブな生き方

残糸を使った織りで
祖母の思いを紡ぐ

手織り工房じょうた 主宰

城 達也

じょう た つ や



18

オルタナ "S" cool (エスクール) 第 2 回開催レポート

オーガニックコットンで、
環境保全と自動労働問題に取り組む

株式会社アバンティ代表取締役社長

渡邊智恵子

わたなべ ち え こ



20

編集後記 & 次号予告

オルタナ S について

「オルタナ S」は若者による社会変革を応援するソーシャルメディアです。Web サイトと月に一度配信するデジタルフリーマガジンから構成され、全国の学生や若者を対象にソーシャル(社会的)、エシカル(倫理的)、エコ(環境)をテーマとした情報を発信します。無料のユーザー登録をすることでオルタナ S サイトへの投稿やデジタルフリーマガジン「オルタナ S」の閲覧ができ、オルタナ S へ参加できます。ユーザーの参加によってオルタナ S は作られます。

ソーシャルメディアの即時性と双方向性を生かし、ユーザーがソーシャルな人や団体、企業とつながるプラットフォームです。



click

NIPPON
POSTER
PROJECT

Nippon Poster Project
(ニッポン・ポスター・プロジェクト)

——これからの日本に、思いをこめて。

オルタナ S では、「これからの日本」を考えていくための一つの方法として、『Nippon poster project』を始めました。これまでに 3 4 作品が投稿され、2 ページ目のポスターはその一部です。

今後は掲載だけではなく、被災地への支援の一つの形として継続的に運営していく予定です。上記ロゴをクリックすると特設サイトへ行くことができますので、ぜひご覧ください。



オルタナ S への参加方法

1

オルタナ S サイト上での同世代エシカルピープルとの交流

オルタナ S サイトでは記事の更新とともに、ソーシャル系の学生団体や NPO、ユーザー同士の交流スペースを設けます。「何かいいことをしたいんだけどどうすればいいの?」そんなあなたに新しい” つながり” を提供します!

2

オルタナ” S” cool (オルタナエスクール) への優先参加

オルタナ S ではオフラインの場でのイベント、オルタナ” S” cool (エスクール) を開催します。エシカル・ソーシャルな方々とのダイアログカフェ、映画上映会や、エコツアーなどを企画し、参加者の” アンテナ” を広げます!

3

オルタナ S 編集部への取材依頼や、記者として編集部の一員に!

オルタナ S はユーザーとともに作っていくメディアです。ユーザーのみなさんが取材してほしい話題や人をお知らせください。「記事を書きたい!」というライター志望の方は編集員になれるチャンスもあります! 希望者は info@alternas.jp まで。

4

オルタナ S 編集部からのメールマガジンでソーシャルな情報を GET

オルタナ S ではメールマガジンを月 2 回配信します。ユーザー参加企画の情報やパートナーの団体からの情報などを中心にお届けします。もちろん、ユーザーのみなさんからの情報も受け付けています!

5

各種 SNS を通じてリアルタイムに編集部からの情報を発信!

編集部ではサイトの他に twitter、Facebook、mixi を通じて情報を発信します! twitter では記事の更新情報や編集委員のつぶやきを随時発信。Facebook や mixi ではユーザーとのディスカッションを展開します。ぜひチェックしてみてくださいね!

オルタナ S の各種 SNS はこちらから! >>>



alterna × S

オルタナ S は若者 (Students and youngsters) による
社会変革 (Social Innovations) を応援する「デジタルフリーマガジン」です。

日本は GNP 世界第 3 位の経済大国です。高度経済成長期を経て、便利で物に恵まれた暮らしを実現しました。しかし、その一方で、地球環境問題や心の病の問題、自殺者の増加など様々な問題が起こってきました。

これらの事実は「物質的に豊かになることが必ずしも人々の幸せと結び付いてはいない」ことを示しています。

イギリスのレスター大学が発表した「世界幸福度ランキング」(2006 年)によると、日本は 178 カ国中 90 位です。1 位はデンマーク、2 位 スイス連邦、3 位 オーストリア共和国となっています。

何をもって幸福とするかは難しいところですが、少なくとも日本で幸福感を感じている人の割合が低い方にある、ということは言えます。

そんな中、物質主義に代わる新たな価値観が模索され始めてきました。それは地球環境や人・社会を大切にすることが自身の幸福につながるといった価値観です。そして、そういった価値観を持ち、行動に移す若者が増えてきています。

例えば、都会から農村へ移住し、農業をする若者や社会企業家、NPO/NGO への就職を希望する若者、など。彼らがそれまでの物質主義・拝金主義的な価値観とは異なった価値観を持っていることは明らかです。

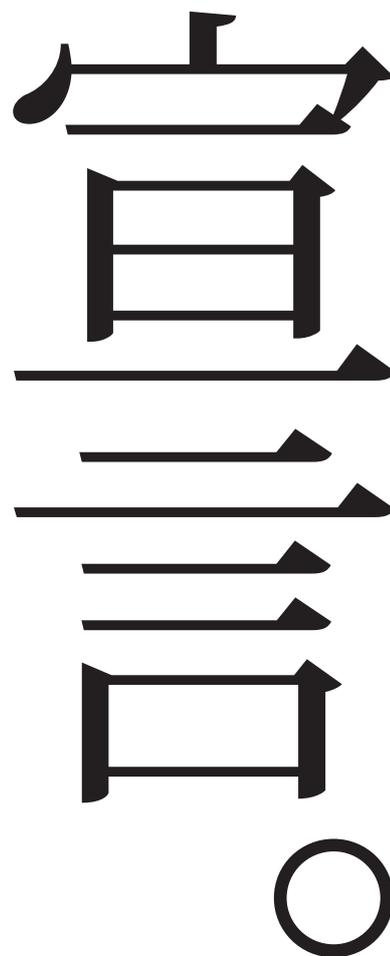
お金や物質的な豊かさを求めて、というよりも自分自身もつ問題意識やそれをすることによって得られるやりがいによって突き動かされているのではないのでしょうか。

当然のことながら、海外の貧困、人権侵害、教育の欠如、経済格差、戦争や内戦などの問題にも目を向けていきます。

オルタナ S は「ソーシャル」「エコ」「エシカル」などの価値観を大事にし、若者による社会変革を後押しします。これから、どうぞよろしくお願い致します。

オルタナ S 編集長

猪鹿倉 陽子



alterna(S)

Youth

Facebook で5万人の心を 揺さぶった20歳の大学生

3月11日、東日本大震災発生後、Twitter上で日本への応援メッセージが海外から続々とつぶやかれた。これらのメッセージをまとめ、「prayforjapan.jp」というサイトを立ち上げた若干20歳の若者がいた。Facebookはファンが5万人以上と、国内規模6位に急成長した。鶴田浩之さんにその想いを語ってもらった。

(聞き手=編集長 猪鹿倉陽子、副編集長 高橋遼)

鶴

田

浩

之



pray for japan.jp

企画・制作者

つるだひろゆき

慶応義塾大学環境情報学部2年



click prayforjapan.jp のトップページ

2時間でサイトを立ち上げ

——震災発生からサイトを立ち上げるまでの経緯を教えてください。

震災発生時、僕は栃木県的那須自動車学校で免許合宿に参加していました。震度6強の場所

アクセス集中でサーバーダウン

2日目の夜にはこのサイト自体について、1分間に1回ぐらいのペースで「感動した」「泣ける」といったツイートがつぶやかれるようになりました。その後やはり、アクセスが集中しサーバーがダウンしてしまいました。

すると、サーバー管理会社から「負荷がかかっています」というメールが来ました。サイトを止められてしまうかもしれないと思ったのですが、「コンテンツを拝見し、弊社としてもぜひ協力したい」と言っていただき、トラフィック分散の処理をしてくれました。

3日目には翻訳してほしいという問い合わせが多くきていたので、友人に頼んでシステムを

になれたことを実感し、震えが止まらなくなり、嬉しかったです。小さな合宿所で始めたことが世界に広まり、これだけの反響をもらったのが驚きでした。

現在は Twitter のアカウントを作り、「新しく救助された人がいる」などポジティブなニュースを出しています。Facebook のページは今、約 50000 件の「いいね！」という評価をもらい、国内で6位の規模になりました。ここでは、Twitter 以上に、いろんな言語で活発な議論がされています。

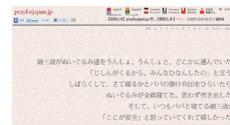
「イギリスで募金活動を始めた」「ニュージーランドで動画をつくった」などの情報が出ており、プラットフォームになっています。今では僕はほとんど参加していませんが活発ですね。

だったのですが実害は少なく、夜は合宿所の1Fにみんなで泊まることになりました。

自分のノートパソコンとイーモバイルがつながったので、NHK の Ustream (生中継サイト) や Twitter を見て情報収集をしました。その日の深夜、prayforjapan というムーブメントが起きているのを見たのがすべての始まりでした。ハッシュタグ (キーワード) 「#prayforjapan」を付けた日本への祈りのツイート (つぶやき) が次々に投稿されていたのです。

多くの僕のフォロワーがこれについてツイートしていたし、ニュースサイトでも取り上げられていました。しかし、この時点でこのツイートがまとめられているサイトはありませんでした。

作り直し、エディター権限を持てば誰でも翻訳できるような仕組みにしました。翻訳している人は全員ボランティアで、30名以上が登録し、現在12カ国語に翻訳しています。ボランティアからたくさん翻訳したいという問い合わせをもらったのも嬉しかったですね。



click prayforjapan.jp に続々と掲載されるメッセージ

very hard to carrying them to a safe when I went to beuffed toys lying my ther. is her safest i

大家對世界表量。我相信大一定會更堅強。

Vort "Daijoun Schriftzeiten. Deshall

click 左から英語、中国語、独語に翻訳されたメッセージ

今は、prayforjapan.jp のサイトと Twitter とフェイスブックを軸に、日本の「prayforjapan.jp」としての活動を多面的にコーディネートしている段階になります。



click prayforjapan.jp の facebook ページ

そこで、Twitter をやっている人以外にも見られるよう可視化し、いろいろな人に知ってもらいたいと思い、早速「prayforjapan.jp」のドメインをとって2時間でサイトを立ち上げ、公開しました。

2日目の昼間には電気も回復したので、夕方ごろから国内の心あたたまるツイートをまとめ始めました。こうして、「#prayforjapan」が付いたメッセージを自動的に集め、表示するページと、日本での心温まるエピソードやツイートを僕が選び、編集した上で公開するページの2つのサイトができました。後者のサイトは公開から3時間でサーバーが落ちるほどトラフィックが集まってきました。

Facebook は国内6位に

——サイトに対する反響は他にもありましたか。

3日目からコラボレーションや書籍化、翻訳の問い合わせなどが300件ぐらいきました。それに加えて、面識のない方からの Twitter のコメントが約800件、Facebook から約100件、メールで約100件、計1000件のメッセージをいただきました。「サイトを作ってくれてありがとう」「このサイトを見て私にも何かできるかもしれないと思い、募金活動始めました」といった内容です。

その反応を見て、自分が作ったものが世界に広まって人の心を動かし、行動を促すきっかけ

——情報発信は一方向になりがちですが、Facebook で双方向に自発的な議論がされているのは SNS の力ですね。そして、これは今回の震災を象徴する顕著な例だと思います。ウェブサービスの開発を元々やられていましたが、今回、同世代の意識の変化を感じましたか。

これを20歳の学生が作ったという事実を見て、同世代の人が自分も何かできるかもしれないという気持ちを持ってもらえたら意義あることだと思います。今も Twitter で prayforjapan.jp をキーワード検索するとサイトを見た人からの「何か自分もしたい」「日本人でよかった」というようなコメントが20万件ほど出てきます。



常に「誰かのために何かしたい」

—prayforjapan.jp をすぐに作りましたが、行動力がありますよね。

すべての行動力の源には小さな種として想像力の蓄積があるのではないのでしょうか。僕は、

たいです。ですから、2年以上計画をたてていません。2年先でさえも最近危ういですが(笑)。

—自分の理想像はありますか。

理想像というより、10年後の自分が今の自分を見て振り返ったときに、そのときの視点で見て誇りに思えるかどうかがこの行動指針になっています。あのときはあのときなりに頑張ったと10年後の自分が思うことができれば、それはいい人生だと思うのですよね。

未来から振り返る視点をいつも考えていて、年齢相応に結果を出していれば良いかなと思います。そう考えると、より一歩先に行きたくなります。例えば、今の会社のメンバーとの友達

普段から考えるクセがあって。常に「どうしたらもっと良くなるだろう」とか、「今日より明日をおもしろくするためには何をしようか」とか、考えることが、習慣になっています。

こういうことをいつも考えているとふとしたタイミングでこれだ、というのを見つけてすぐに行動に移せるのですよね。自分の中でどんどん蓄積されていくのがわかります。

イメージすることはすごく大事。行動力ある人間になるためには、常に考えるようにしておく、いつかきっと何かできると思います。

10年後の自分が今の自分を誇れるか

—これまで、大学受験など進路選択があった

付き合いについても、もし解散しても10年後にまた集まって思い出話ができるようなメンバーです。そういう意味では未来志向ですね。

—4月には会社を立ち上げられました。どのような会社ですか。

僕にとっては人生で二度目の起業になります。一度目は、16歳のときで、自身が運営するWebサイトで広告枠を売っていました。

今回は3人の創業メンバーとともに、株式会社ネットエイジから出資を受けて立ち上げました。今までになかった新しいものを作っていく、というコンセプトです。

インターネットを通じて、人の生活が変わっ

たり、自分で考えたり、コーディネートできる人を増やしたいのです。

そういう人を増やすことが将来の日本にとって大事だと思います。クリエイティブな人が政治に入ると日本が変わるかもしれません。

想いだけでは世の中は変えられない

一方で、同じ世代の人でも、ちょっとベクトルが違う人もいます。熱い想いはもっているんだけど、それだけで終わってしまっている人です。その想いだけで日本を変える、というのは難しいと思います。

僕も「学生起業家」という名目で人と会うと10人中8人から怪訝な目で見られます。しかし、一つの軸となる技術があるとか、過去にヒッ

と思うのですが、何か自分がやりたいことがあって選択をしていたのですか。

僕は、あまり長期的な目標は立てません。なぜなら、10年後の自分は予想がつかないぐらい今とは違うものになっていると思うからです。今の未熟な20歳の自分が30歳の自分を定義づけるのは無理があると思うのです。だから、日々面白いことを追求していくというスタンスに高校時代から切り替えています。

10年後にこうなりたいと考えるのは意味あることだと思うのですが、その中で偶然起きることに対する思考が止まってしまうかもしれません。だったらそこに縛られるよりは自分で波をつくってどんどん新しいことに挑戦してい

たり、新しい価値観にふれるきっかけを提供したいです。今は、やれることはなんでもやろうという姿勢です。

例えば、サービスを作ってコミュニティをもったり、メディアを作ったり、iPhoneアプリをつくる可能性もあります。実験室のような雰囲気メンバーそれぞれが企画したものをつくっていきたくと思っています。

今後は、いくつかの企画を1年ぐらいやった後に、コアなものをより強くしていきたいです。そして、方向性としては最終的に世界に行きたいと考えています。

トを飛ばしたという実績があると信頼してもらえます。相手の視点にたったら当然ですよ。

想いや情熱だけでは世の中を動かすのは難しい。想いだけではなく、相手の視点にたって自分でものを考え、行動できるということが大事だと思います。

鶴田さんの今を知る

click



blog

2011.03.11 東日本大震災

若者たちの支援

特集

そのとき、 若者は どう動いたか？

—2011年3月11日14時46分。

東日本大震災は、未曾有の被害をもたらした。甚大な被害に対し、各地で若者の支援を後押しする体制が整いつつある。文部科学省は全国の国公私立大学・専門学校に対して、ボランティアを行う学生に単位を付与するなど、活動しやすい環境を整えるよう通知を出した。文科省は、ポータルサイト「東日本大震災・子供の学び支援ポータルサイト」(<http://manabishien.mext.go.jp/>)を立ち上げ、被災した児童や生徒に対する支援の要請と全国の教育機関等からの支援提供情報を掲載している。

民間団体も若者に期待している。企業やNPO・NGOなど民間団体239団体から成る支援ネットワーク「東日本大震災支援全国ネットワーク」(<http://www.jpn-civil.net/>)では、ユースチームが設けられ、学生・若者がボランティアを行うための環境を整備する。ボランティアにあたってのガイドライン作りや長期的に支援に関われるような支援プログラムを開発していく。

米国の人権やNPO活動に詳しい大阪市立大学院創造都市研究科の柏木宏教授は、若者のボランティア活動に関して次のように語った。「被災地に行く前にボランティア団体のトレーニングを受けたり、活動資金を貯めたりするなど、心構え・体制づくりを行うことが必要。学生であればGWや夏休みなどまとまった時間の取れる長期休暇に行くことを検討してほしい」。震災で授業が遅れた児童に対して補習を夏に実施することも有効な支援の一つだという。柏木教授は、「二次避難者への支援やペットを預かるなど、現地に行かなくてもできる活動はたくさんある。イメージを膨らませて中長期的に活動してほしい」と期待を込めた。

若者たちは、震災をどう受け止め、考え、行動したのだろうか。今号では、いち早く支援に乗り出した若者たちに迫った。

被災地レポート

～現状と被災地での支援

東日本大震災で津波の被害を受けた宮城県南三陸町。被災地の現状と、新潟県十日町で被災しながらも、東北復興支援のために立ち上がる若者の活動を紹介します。



丸ごと海に飲み込まれた 南三陸町



昭和35年チリ地震の津波災害記念碑も、なぎ倒され虚しく何かを訴える

塩野健介（しおのけんすけ）

獨協大学4年、専攻は環境法学。平成元年うまれ。平成を希望と活力に満ちた、キラキラした時代にするのが夢。関心のあるテーマは環境全般、特にエネルギー問題など。

リアス式海岸特有の美しい自然に包まれた宮城県北東部にある南三陸町。港では、カモメが潮風をきって空を舞う。吹き抜ける風に木々はざわめき、鳥がさえずる。山の間を、清く澄んだ川がせせらぐ。

被災したその町を歩くと、人の命、家、職場、すべてが津波によって奪われていた。建物の大半が原形をとどめず、元の町並みを想像することすらかなわない。

高台のホテルで難を逃れた町役場に勤める40代の男性は、「町が丸ごと海に飲み込まれていった。翌日ようやく波が引いたときには町が無かった。沿岸部から離れているからと安心してしまい、被災された人も多い」と話す。実際に海から2キロメートルほど離れた新井田地区でも、川を遡上した津波によって多くの犠牲者が出ている。

男性は今、仮の町役場と災害対策本部のある町の体育館で支援物資の受付や搬入、またその管理を担当している。まだまだ支援物資が頼みの現状が続いており、先は一向に見えてこないが、「復興の役場人生だ」とその目にうっすらと涙を浮かべながら必死に未来を見据えている。

町は、津波に飲み込まれ、防波堤や水門もろとも75センチ沈んだ。5362世帯中、約4000世帯が住む家を失った。生存者のほぼすべてが町内45ヶ所の避難所で生活を送っている。2月末日の町民は17666人、3月末日の避難者数は10000人といない。仮設住宅の用地確保すら困難で、完成までは半年以上を要する。自立復興への道は長く険しく、待ち受ける困難は並大抵のものではない。町長をはじめ、役場の職員や住民、被災された方ひとりひとりが明日へ、未来へ、もがきながら進もうとしている。

関連記事は
こちらから



元限界集落が 被災地支援



地元で採れた大根やじゃがいもを被災地へ向けて発送

坂下可奈子（さかしたかなこ）

香川県出身、2011年立教大学卒。農業と村の人たちの生き方に惹かれ、2011年冬17人のムラ新潟県池谷集落に移住。村の人たちとともに米作り、地域おこしに取り組みます。牛さん鶏さんと生活中。

2006年の新潟県中越地震で大きな被害を受けた新潟県十日町市池谷集落。震災から立ち直りつつある池谷集落の住民たちは、東日本大震災の復興支援にも乗り出した。その中心に立つのは2010年2月から、「地域おこし協力隊」として妻、息子3人とともに東京から池谷集落に移住した多田朋孔さん(33)だ。

東日本大震災を受けて、池谷集落では、独自ブランドの魚沼産コシヒカリ「山清水米」120キロに加え、集落で集めた野菜や大人用おむつ、生理用品など段ボール2つ分を石巻市に送った。物資は緊急支援・生活インフラ再構築などを行う国際協力NGO・JEN（ジェン）を通じて各避難所へ配布し、コメは現地の炊き出しに使用された。

JENは、宮城県石巻市を中心に、炊き出しや汚泥除去などの活動をしている。JENは、中越地震のときも、池谷集落で緊急支援活動を行った。その縁もあり、今度は、池谷集落が、東日本大震災の被災地を支援することになった。

池谷集落は、震災当時、13人しか住民のいない過疎、高齢化集落だった。だが、「地域おこし協力隊」という地域外の人材を積極的に誘致し、地域力を維持・強化する取り組みによって、今では若い移住者が増え、住民は17人に増えた。

「ここ池谷は中越地震の被害を受け、住民も集落が消滅すると思っていました。しかしJENによる復興活動を通じて都心の人たちとの交流が始まり、移住者も増え、村の人たちも過疎に対して諦めから希望を持つようになりました」と多田さんは振り返る。

震災から復興し、限界集落から脱出した池谷集落から復興のリレーが始まった。

関連記事は
こちらから

そのとき、 若者はどう動いたか？

東日本大震災に対して、各地で若者たちの支援やプロジェクトが始まった。仕分け作業や献血活動など、被災地でなくてもできる活動に積極的に取り組んだ若者たちを紹介する。



物資



物資を積み込む学生たち

震災翌日に学生緊急事態対策本部を立上げ

SET(Student Emergency Taskforce)

東日本大震災を受けて、都内の大学生を中心とした支援組織 SET (Student Emergency Taskforce 学生緊急事態対策本部) が3月12日に立ち上がった。現在、SETは、株式会社イングラムが行う [ピースプロジェクト](#) に参加する企業からの衣料品を中心に、物資の搬入・仕分け・搬出作業を行っている。これまでに衣料品4404枚や医療品、衛生用品など825箱を搬出した。

物資の運送には、日本通運、佐川急便が全面協力。被災地では、認定NPO法人難民を助ける会が物資を受け取り、各避難所へ配布する。

SETの代表である [吉田勇佑](#) さん(明治大学経営学部3年)は「今、知識のない大学生ができるのは、NPO

や企業の方の判断に従い、マンパワーを発揮して支援すること。今後は地方の大学生にも呼びかけて、長期的な支援を行っていききたい」と意気込みを語った。

学生たちの楽しそうな作業姿が印象的だった。「僕らが楽しみながら作業をすることが、被災地の人たちの笑顔につながると思う。こんな時だからこそ、僕らも笑顔で頑張りたい」と学生の一人は語る。

SETでは今後、物資支援のサポートだけではなく長期的な視野に立ち、自立までの復興支援を行う。そのためにも、NPOや企業との連携は不可欠だ。

(編集長 猪鹿倉陽子)



献血



献血センターでパンフレット作成を手伝い

学生1000人の献血を被災地へ

400L for Hope.

慶応大学4年生の [植原正太郎](#) さんが立ち上げた [「400L for Hope」](#) は、学生1000人分の献血と義援金100万円を集めるプロジェクトだ。被災者のために「学生だからこそ」できるアクションを起こすことを目的に、3月末から2カ月間で学生1000人×400ml=合計400Lの献血を集めることを目指す。

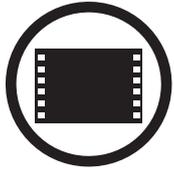
賛同する学生はまずtwitterで「[@400LforHope](#)」をフォローすることで参加意思を表明し、献血後に「#400L」をつけて「献血行ってきたよ!」とつぶやき、活動をさらに広めていく。献血ができない人は、[「Just Giving」](#) というプラットフォームを利用し、寄付することで被災地を支援できる。これはチャレンジャーが何かに挑戦することにより、支援したい団体のために寄付を集める仕組みで、「400L for hope」では、[公益財団法人 Civic Force](#) に100万円寄付することを目指している。

企画者の植原さんは、震災以降、何かしたいという学生が自分の周りにもたくさんいると感じた。そうした学生の力を一つにする被災地支援として、献血は被災地に行かなくても誰でも参加しやすいと考え、このプロジェクトを立ち上げたという。

3月28日には新宿で献血ツアー第一弾が開催され、12名の学生が集まった。植原さんは「参加者は初対面の人ばかりだったが、震災後それぞれが考えて行動し、一緒に『被災地のために自分にできること』をしています。これからもそんな学生の想いを、この活動を通して繋いでいけたらと思います」と話す。今後もさらに新たな支援が企画される予定だ。

日本の将来を支えるのは私たち若い世代。今こそ学生の力に期待したい。(編集員 木村絵里)





映像

応援メッセージを映像で被災地へ

UT (United Tomodachi)

被災者の方々への応援メッセージを世界中から募集し、直接被災地に届けるプロジェクト「[Movie of "Pray for Japan" project](#)」が立ち上がった。世界中で広がっている「pray for japan (プレイ・フォー・ジャパン)」の取り組みの一つとして、映像を使い被災者へのメッセージを届けるというこのプロジェクトは、日本・アメリカ・カナダ・ロンドン・オーストラリアの若者ら10名程度が結成したUT(United Tomodachi)が運営し、世界各国から集まるメッセージをYouTube上で発信している。また、活動紹介のために開設されたFacebook上のページの賛同者数は350名を超えた。

メッセージの内容は、世界中の人々による支援の声だけでなく、兵庫県神戸市立向洋中学校による「翼をください」の合唱や、葉加瀬太郎氏ら著名人からのメッセージなど様々だ。また、オーストラリアのシドニーでは、4月7日に行われたメンバーの一人が主催するチャリティーイベントで、UTに寄せられたメッセージの映像を流し、1437.30ドル(約12万円)の寄付金が集まったという。

日本での中心メンバーである横田裕昌さん(23)は、兵庫県神戸市出身だ。95年の阪神淡路大震災を幼少期に経験した彼にとって、当時大きな励みになったのは、神戸を元気づけるためにつくられた「しあわせ運べるように」という歌だった。震災後の神戸ではいくつもの応援の歌ができ、各地の小学校で歌われるようになったという。このような経験から被災者に対しては、何よりも心の面への支援が必要だと確信した。横田さんは、「阪神淡路大震災を経験した身として、被災地での『心のケア』が非常に大切と思うと同時に、自分にできることでもあると思った。撮影した映像で被災地の方々に一人じゃないということを伝えることができればいいと思う」と語る。

今後は被災地である岩手・宮城・福島・茨城・千葉の各地で上映するほか、映像だけでなくスポーツ教室や書道教室などを開き、『心のケア』を中心に幅広い支援を長期的に行っていく予定だ。

「自分だからこそ出来ることをする」。彼の思いは被災地へ届くに違いない。(副編集長 高橋遼)



渋谷でメッセージを撮影するメンバー



報道

災害弱者の支援情報を継続的に報道

NPO みんつな～東日本復興支援プロジェクト～

3月12日夜、途上国支援などの活動を行っていた有志が集まり、[NPO みんつな](#)が発足した。募金や被災地支援のほか、市民目線からの震災情報を発信している。

メンバー内で意見を交わす中で、大手メディアによる震災報道が少なくなるにつれて、ボランティアの数も減少する傾向があるという問題点が見えてきた。そこで、「長期的に、女性や子ども、老人などの災害弱者に対する支援を重点的に行う」とこと「継続的に震災情報を報道していく」という2本の軸で活動することになった。

メンバーがもともと持っていたスキルや人脈を生かして細かいニーズに対する支援を行うとともに、マスメディアではなかなか報じられないNPOの活動情報や、災害弱者への支援などの情報を発信していく。

BS11 デジタルの報道番組「InsideOut」内の「パブリックアクセス＝市民による震災報道」を、みんつなを含むNPOなど約30団体から成る「いま私たちができること」運営委員会が企画・制作を行う。第1回目の放送では避難所にいるろう者や外国人に対しての接し方などが放送された。

共同代表の小川光一さんは「被害の大きい岩手県陸前高田市では、役場が津波で流されて機能しておらず、ボランティアの受け入れ体制もまだ整っていません。まずは、行政機能の回復のお手伝いとして、役所で使う備品などの物資輸送を行います。そして、被災地の情報を「InsideOut」を通じて継続的に発信していきます」と現状を語る。「ゆくゆくはみんつなの活動のノウハウを現地の方に渡したい」と意気込んでいる。

(編集長 猪鹿倉陽子)



リハーサルの様子



pray for Japan

～希望のメッセージ～

2011年3月11日午後2時46分。

オルタナS創刊を目前に控えた中、日本での観測史上最大規模の「東日本大震災」が発生しました。被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

このページではオルタナS編集部員、若者からのメッセージをご紹介します。

がんばれとは言いません。ただ、生きてください。人とのつながり、思いやりの大切さを実感しています。私達も希望となるような情報を発信し、皆さんとともに歩んでいきます。

(オルタナS編集長 猪鹿倉陽子)

「これから」を一緒につくっていきましょう。僕ら若い世代ができる最大の支援は、10年20年先の未来を一緒につくっていくことです。そのために出来ることすべてをします。どうか希望を忘れないでください。

(オルタナS副編集長 高橋 遼)

日本は負けない。あらゆる側面で日本は大きく変わる。誇れる国にきつとなる。一緒に未来を歩んでいこう！

(オルタナS 原彩子)

今日という日を一生懸命生きましょう。

みなさんのことを世界中の人々が応援しています。

(オルタナS 木村絵里)

今回の震災でみなさま非常に苦しい思いをしていることと思います。

時が経つにつれ様々な困難があるかもしれませんが、日本全国が皆様のことを応援しています。長い戦いになりますが、体に無理のないようお気をつけ下さい。

(オルタナS 清本周平)

あなたがいてくれたから

私がいられる

人と人とのつながりを

苦しいときほど、辛いときほど、
強く感じる

私がいることは

きっと誰かの力になれる

私は、私にできることをしよう

あなたに、あなたらしく、力強く生きてもらうために
(Y.Y)

今回の東日本大震災で一人一人が自分出来ることを精一杯して少しでも早く、東北の皆様がいつも通りの生活に戻れるよう頑張ろう日本！

(A.Y)

応援メッセージなんて、厚かましくて自己満に過ぎないように感じて、何も言えない自分がいます。だけど、嘘くさくても、とにかく僕は毎日「大丈夫であるように」と祈っています。当たり前の日常が戻るその日まで。

(オルタナS 鈴木 純)

僕ができることは、目の前の一日一日を真剣に生きることです。仕事をこなし、今の問題を自分なりに考え、動くことです。それが巡って皆さん、日本の復興につながると信じています。被災していないぼくらは、変に悲しむことではなく、皆さんの光となるのが責任だと思っています！

(オルタナS 殿塚建吾)

被災された全ての方とご家族へ。東日本大震災が起きてから、自分が何ができるのかと毎日考えていました。少しでも被災地の復興や被災された方々の力になれるよう行動していきたいと思います。

(オルタナS 高橋とよみ)

被災地のために今連帯をとって被災地のために何かしようとしています。この気持よとどけ！心は一つ！（大橋 衛）

世界中、日本中が一人でも多くの命が救われることを祈っています。人との絆があれば、また日本は強く復興していくと思います。

(佐藤 恵)

最後まで諦めないで精一杯生きてください。

今、私ができること精一杯します。一緒に頑張りましょう

(石津綾野)

遠く離れたオーストラリアでも数多くの方が日本で起こった地震に深く心を痛めています。オーストラリアの小学生が「Save the Japan」と掲げた手書きの旗をもち、街角で声をはりあげて。チャリティイベントには次々に世界中の人がかけつけて来ています。遠く離れていても今できることから。日本に笑顔があふれる日がくることを世界中の皆と一緒に頑張って応援しています。

(R.K)

さいたま市にすむ大学生です。さいたまは被害はほとんどありません。何かできないかと動いてはいますが、節電ということしか直接してあげることができません。必ず被災地を復興させよう世界は1つになってきています。必ず乗り越えましょう！！

(本田祐介)

twitter

拾い読み

2011.3.11 から、twitter 上では無数のつぶやきが生まれ、
私たちにたくさんの有益な情報や、いままで思いもなかった気づき、
そして、感動を与えてくれています。ここでは、オルタナSが見つけたキラリと光るツイートをご紹介します。

ふきだしをクリックすると、
その人のプロフィールページにいけるよ！

@taltics

節電生活にも少しずつ慣れてきた。それとともに、今まで結構無駄な電気を使いすぎていたな…とちょっと反省。
それと、川崎の湾岸部で建設中の大規模な太陽光発電所の建設が間に合っていれば良かったと思う、これを機会にもう少し規模を拡大しても良いと思う。

! S

電気が不足しているからこそ、
出てきた気づき。
自分にとって何が必要なのか
もう一度考えるときです。

! S

すばらしい！
そんな社会にしていきたいですね。
私たちも応援していきます。

@hideji33

もしかして、これから原発も減って、省エネにも慣れて、ネガティブなコトバに反応しなくなって、
人のために募金して、人のために働く人に感謝して、お年寄りを気にかけて、お互いにやさしくなって、
すごくいい国になるのかな。もうそんな国がはじまってるみたい。

! S

確かに。
この気づきをしっかりと行動にむす
びつけていかなければいけませんね。

@kuronekoya035

原発は全然持続可能じゃないってずっと前から環境系の人は特に言ってたけど、周りの家族レベルでそれを言うって今は相当関心が持ってる証拠。だったら寒くても暑くても我慢できるの？って聞いても今は「いい。」と言う。皆がハナからそうなれるなら原発は存在しないよなあ。。

! S

こういうアイデアで、
心も体もあったかくなればいいですね！

@inu_mof

人間ひとり部屋に置いとくと、裸電球 100W くらい
発熱してるから、無理ない範囲で夕食会とかやって
るのもいいかもね。煮炊きもまとめるといい

@usukane_sensei

今朝吉祥寺のローソンでお金下ろそうとしたら、金髪ロン毛顔申ピアスのいかにもチャ
ライ兄ちゃんが先に A T M にいたのだが、その兄ちゃん、下ろしたお札 (一万円札数
枚に見えた) を財布にしまわず、そのまま全部レジの募金箱に突っ込んで無言で店を
出て行った。日本はまだ大丈夫だ。

! S

だいじょうぶ！
若いヤツらだっちゃんと考えてるんだ！

! S

いまを嘆くばかりじゃなく、
これからの社会をどうつくりかという
目線が大切！若い世代のアイデアをどんどん
出していこう。

@kawabou

東京は、今こそ変わるべきだと思う。そして世界に誇れる、持続可能な "コンパクトシティ"
に生まれ変わろう。自動車よりも自転車を、高層ビルよりも緑豊かな公園を、夜のネオンよ
りも朝のトリのさえずりを！

! S

この気づきが大切なんですよ。無
関心でいることが、実は問題だとい
うことはたくさんあります。
まずは、知ることから！

@srgmtaro

今回僕も含めて、日本中の多くの人々が原子力発電というものについてめちゃめちゃ詳しくなった。
それはもう、どんな反原発の勉強会よりも。原子炉の構造から、それを地方に押し付けることの意味についてまで。
結局、自分が当事者になるまでは他人事だったんだなあと痛感。払った授業料はあまりに大きい



残糸を使った織りで 祖母の思いを紡ぐ

今月の先輩

手織り工房じょうた 主宰

城 達也さん

主宰の城達也さん（35）は、見本もなければ教科書もない、感性で織る「さをり織り」の理念を広めるために東京都吉祥寺に「手織り工房じょうた」を開いている。工房を開いてから3年。工房に対する想いと実現までのプロセスを聞いた。（聞き手＝編集員 鈴木純）

— 工房を持つまでの経緯を教えてください。

高校生の時に大阪天保山海遊館で行われた日本初の障がい者による芸術祭を見に行っただけです。そこで目にしたのが「さをり織り」を織っている障がい者のパワー。可哀想だと思っていた障がい者のイメージが一変し、一人一人の感力を大事にする「さをり織り」の力を感じました。

その後、偶然の力で織りなしていく「さをり織り」の芸術性にも感動し、障がい者だけでなく、広く多くの人にこれを広めていきたいという気持ちが強くなっていきました

— では、大学卒業後はすぐに工房を持つと思ったのですか？

大学に入る頃にはすでに将来は「さをり織

り」を仕事にしたいと考えていました。しかし、視野を広げるためにあえて分野の違う企業に入社し、3年間社会勉強をしました。その後、叔父が経営しているさをり織り教室に転職しました。

しかし、次第に叔父のしたいことと祖母の理念と自分の気持ちに矛盾が出てきました。当時は「さをり織り」と言えば障がい者のする織物というイメージが強く、教室でも障がいを持つ方や年配の方が多かったんです。

障がいを持っていても出来るのが「さをり織り」の魅力でもあります。さをり織りの魅力は全ての人に平等であることです。もっと幅広い対象にこの魅力を伝えていくべきだと思い、自分の工房を持つことを決意しました。

「さをり織り」について

「さをり織り」は繊維工場の残糸を使用して作られる。工場の生産過程で余った糸や生産中止となった織物の糸を捨てられる前に安く買い求め、リサイクルしている。今そこにある糸で織り、偶然出来る模様を楽しむのが「さをり織り」の魅力だ。

「さをり織り」は他の織りとは違って型が無い。自由に織ってもらうことでその人の感性が出てくる。それが「さをり織り」の特徴であり魅力であると言ったじょうたさんは言う。見本も失敗も無い自由な条件の下では老若男女、人種、障がいのあるなしと言ったカテゴリーが全て取られ、フラットな状態での個々の感性が現れてくる。そのような感性の力、つまり「感力」で織るのが「さをり織り」の特徴だ。



先輩に聞きたい！

お金のコト



— 始めの資金はいくら用意しましたか？

2年間は利益がなくても生きていけるように2年分の家賃代と食費代を貯めました。1年目で家賃代をまかなえる程度の収入を出して、2年目で食費までまかなう。そして3年目から利益が出る計算で資金を準備しました。

— 3年目で利益を出そうと考えた理由は？

一人が会員になってくれれば、その会費が1万円。叔父の教室での経験を基に考えると1年で15人程度が会員になってくれれば妥当かと。2年目には5人が会員をやめて、また15人増えて合計25人、3年目で30人以上の会員がいれば成り立つ計算でした。

— 会費で成り立っているということですか？

あとは織り機や糸を売ったりもしていますが、こちらの方はあまり売れていません。糸は200万円ほど利益が出る予定でいたけど実際は20万円くらいしか売れていません。

もともと会費と糸と織り機の販売で3分の1ずつ利益を出す計画だったのですが、今は会費が7、8割を占めています。想定以上に会員が多いのでなんとかなっていますが。

今後は糸と織り機での利益をもっと上げていきたいと思っています。

先輩に聞きたい！

経営のコト



— 経営に関することは勉強されたんですか？

はい。セミナーに参加したりもしましたが、主に本で勉強しました。

— 利益を予想するのは難しいですよね。

難しいです。そこで私が一番大事にしたのは経営理念をしっかりと打ち出す事です。自分が本当に何をしたいのかを定めると、そこに方法論がってきます。

私の場合は、さをり織りを「売りたい」のではなく、さをり織りを「広めたい」と思っていました。その想いを形にするためにはどうすればいいのかを考えました。理念があると方法を決めやすくなります。

例えば、さをり織りを広めたいのなら、移動教室でもいいですよね。でもそれだと収益が上がらず、持続できません。それなら自分の工房を持ち、自分の出来る範囲で広めてい

くのが一番だと考えました。そこから場所の選定や会費の値段などの計算を初めて行うことが出来ます。

— その際、気をつけた方がいいことは何ですか？

それは他との差別化です。自由に織れるというのがさをり織りの特徴なので、そういう意味ではすでに他の織りとの差別化が出来るのですが、さらに時間の制約を無くすことにしました。多くの織り教室は予約制で織れる時間も決まっています。

でもじょうたでは、会員になればいつ来てもいいし何時間いても構いません。チケット制ではなく会員制にしたことで差別化を図ったのです。さをり織りの理念は個人の感性で自由に織っていくこと。この理念を体現するために会員制にしました。

— 宣伝していくことも大事ですよね？

宣伝はイベントへの出展や、偶然マンションの上の階に住んでいる人がHPを作ってくれたりしました。ただ、このHPは文字が無いので検索してもどうしても上位に出てこないんです。だからそこをクリック広告と併用することで対応しています。

もともと織り業界はマニアックな業界なのでやりやすいし、費用も少なくて済みます。

先輩に聞きたい！

お店のコト



— 工房の準備期間はどれくらいですか？

半年くらいです。その間に家探し等もしました。

— どうして吉祥寺に工房を構えたのですか？

吉祥寺には手芸のお店が多く、他にもこだわりを持ったお店が多い。自分の価値観で物事を選べる人が多いので、じょうたには吉祥寺が合うと思いました。初期投資を出来るだけ少なく抑えたかったので、はじめの1年半はマンションの一室を20万円で借りていました。1年半経って、計画以上に会員が増えたので今の場所に移動しました。費用は資本金とは別の個人の貯金から出しました。

— 貯金と資本金は違うんですか？

当時の貯金が1000万円あって、そこから資本金として400万円出しました。あと200万円を父に出してもらっています。何かあった

時に貯金を残しておきたかったのと、父に株を持ってもらえれば、配当金でお金を返していけると思いました。

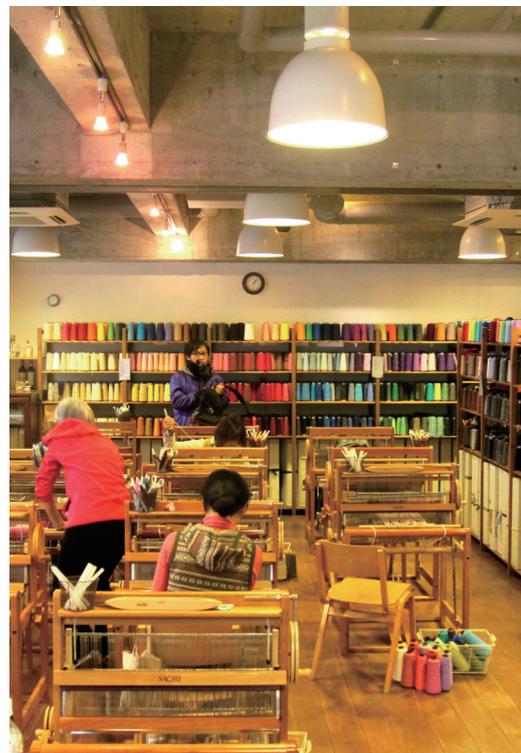
— 現在の経営状況はどうですか？

今年の売上は2600万円利益は今年が初めての黒字で220万円でした。ただ、過去2年間の収支は赤字なので、まだ資本金の600万円は回収出来ていません。給与は1年目の半年間は0円。その後半年で10万円。2年目は20万円くらい。今、3年目で28万円なのでやっとな食べていけるようになりました。

— 今後の展望を教えてください。

店舗を増やしてさをり織りの理念をもっと広めていきたいです。

明るい店内に入ると、色とりどりの糸が目飛び込んでくる



「さをり織り」の始まり

大阪が繊維街として栄えていた1968年。じょうたさんの祖母「城みさを」さんが始めた「さをり織り」。誰にも教わず、趣味で織った帯を、近くの呉服屋に「縦糸が一本抜けてるから、二束三文でっせ」と言われたのが始まり。これは傷ではなく、味だと考えたみさをさんは、今度は縦糸をもっと抜いて織ってみたところ、別の老舗呉服屋に「全部引き取らせて」と高く評価される。

機械織りにない味がある織りは口コミで広がり、教えてほしいという人が増えてくる。その後の繊維業界の衰退とは逆に「さをり織り」は日本中に広まっていく。「みさを」の「織り」で「さをり」だが、「差異」を「織る」から「さをり」という意味もこめられている。



後輩にひとこと



お店を開くとしたらとにかく理念をブラさないこと。それから休みをしっかりとること。初めの1年はテンションが高いので休み無しでも働けますが、だんだん落ち着いてくると大変になってくるので、はじめから休みも計画に組み込みながらやっていけるといいと思います。



1



自分の好きな糸を選ぶ

2



ポビンに糸をまきつける

3



ポビンをシャトルにセット

4



シャトルを糸の隙間に滑らせる

5



おさを手前に引く

6



これを繰り返すだけで、オリジナルストールの完成!

手織り工房じょうた

← 画像をクリックしてWebへ



場所 東京都武蔵野市吉祥寺本町 4-16-12

営業日 火～日曜 10:00～21:00 (火・水・日は18:00迄)
※定休日 月、祝日、第1日曜日

アクセス JR 吉祥寺駅から徒歩 10分



工房営業中にも関わらず、「お店を持ちたいと思っている人の助けになるなら」と、全ての質問に赤裸々に答えていただいたじょうたさんに感謝。静かな工房で聞こえてくるのは、おさとシャトルを動かす「ささっ、かたんかたん」という音。体験コースでは4、5時間でマフラーサイズの布を織ることが出来る。目まぐるしく移り変わる日常の中で、たまには、じっくりと自分の「感力」に耳を澄ませる時間を持つのもいいかもしれない。(編集員 鈴木純)

オルタナSが主催する第2回“S”coolが2011年3月1日にオルタナサロン(東京・表参道)で開催された。講師はオーガニックコットンを日本に広めた株式会社アバンティ代表取締役社長渡邊智恵子さん(59)。オーガニックコットンへ込める思いを語った。渡邊さんが若者や学生に伝えたい思いとは——。(編集員 高橋とよみ)

オルタナ“S”cool
当日の様子は
こちらから！

Click!!

オーガニックコットンで、 環境保全と児童労働問題に 取り組む

人と同じことをしていたら、感動は与えられない

私、歩くのがすごく速いのです。とろとろしていたら、24時間を48時間に使えないから。そう思うようになったのは、松山バレエ団での出会いがきっかけです。10歳前後の子どもが1時間半も舞台上で踊って、その後に「ありがとうございました」と観客をもてなす。

その姿を見て「大変ですよ」と声をかけると、「大丈夫。人と同じことをしていたら、感動は与えられないの」と答えた。私はあの時、こんなに小さな子も自分の体でそれを会得していることに感動しました。

夢を持って、ド真剣に働く

みなさん、これから就職してニューフェイスとして働かなくてはいけない。そのときに、夢を持つことはとても大事です。夢を持ったら周りの人は必ずその夢に力を貸してくれると思うのです。そして、自分の仕事にド真剣に携わってもらいたい。

私は38歳のときに、オーガニックコットンの生地を輸入する仕事に携わりました。織物と編み物の違いも英語で何と言うのかも全く知りませんでした。だから毎日が勉強で、与えられた仕事に朝8時半から夜12時半まで真剣に取り組みました。大変でしたが、与えられた仕事だから、これを何とかしなくてはという思いでやっていました。与えられた仕事、とやっていたことが、いまは自分にとって使命であると感じています。これから天命に向かって私は60代、70代を過ごしていこうと思います。

オーガニックコットンとは

オーガニックコットンというのは、3年以上化学肥料や農薬を使用しない畑で生産された綿です。有機栽培のコットン畑は落葉剤を使わずに収穫しますが、先進国において通常の綿花栽培では収穫の効率化のために、コットン畑に落葉剤をまいて人工的に葉を枯らした後に収穫することがほとんどです。緑のものを人工的に枯らすわけですから、生態系が崩れていきます。そのような化学薬剤を使うことは労働環境まで脅かすことになります。

化学肥料、除草剤や落葉剤を使うことが、自然や人に多くのダメージを与えています。正しい情報と、私たちにとって何が一番必要かということをご皆さんに知っていただきたいと思っています。

オルタナ“S”coolとは？

オルタナS事業の一環として開催されるオフライン・イベント。ソーシャルやエシカルをテーマに、ダイアログカフェや体験型ワークショップを行います。第1弾では映画の上映を通して、地球規模の環境問題について話し合いました。

guest



株式会社アバンティ
代表取締役

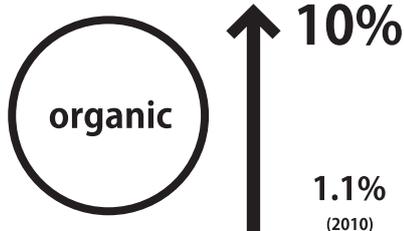
渡邊 智恵子

Click!!

渡邊智恵子さん
をもっと知る

1952年、北海道斜里郡生まれ。

1985年に設立した株式会社アバンティで、オーガニックコットンと出会い、強い感銘を受け、ビジネスとして取り組むことを決意。さらに、日本のオーガニックコットン認証基準を築くべく、NPO法人日本オーガニックコットン協会(JOCA)副理事長に就任するなど、オーガニックコットンの啓蒙普及に尽力する。2010年、NHK「プロフェッショナル～仕事の流儀」に、社会起業家として取り上げられる。



循環型農業を守る

農業は私たちにとって、とても大事です。食べるもの、着るもの、全て農業から始まっていると言っても過言ではありません。オーガニックコットンには遺伝子組換えの種や化学肥料、殺虫剤、除草剤、落葉剤をできるだけ使わないようにしようという強い意志があります。私たちは世界各国の人とオーガニックコットンを増やそうとしています。私がこの仕事を始めた21年前は世界のコットン生産量の中の0.01%でしたが、現在は100倍の1.1%にまで拡大しています。私たちの当面の目標は10%まで増やすということです。

児童労働に支えられる綿栽培

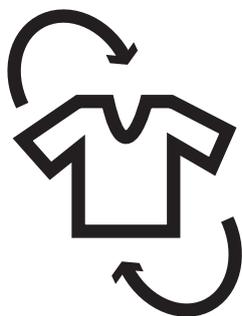
インドでは6歳から14歳の女の子がコットン畑で朝から晩まで働いています。本来なら小学校に行くような子どもたちが、学校に行かないで働いています。インドに児童労働が100万人以上いるなかで、そのうちの40万人を綿栽培が占めているといわれています。



1枚のシャツを長く使う

私たちが毎日着ている服が、人道的・環境的に大きなダメージを与えていることをぜひたくさんの人に知っていただきたい。ですが、通常栽培のコットンを使わないでほしいということではないのです。ぜひ1枚のシャツを長く使っていただきたい。長く使うことが実は児童労働や環境破壊を抑えることにつながると私は思っています。

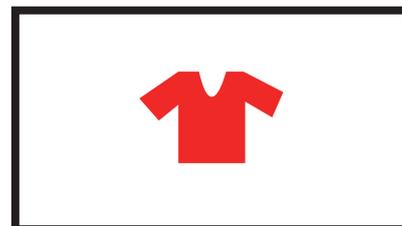
また、綿から糸を作り、生地を作り最終製品になるまで2年かかります。綿の栽培に約1年、糸・生地・製品を作るのにそれぞれ3カ月、売り場に届くの3カ月。2年の歳月を経てようやくみなさんの手元に届きます。それを少し汚くなったから、破れたからといって使い捨てられては困ります。つぎはぎをして使ってほしい。それが本当の意味で環境を守ることだと私は思います。



メイドインジャパンにこだわる

私たちが着ている繊維製品は約90%が海外製品です。日本で糸を作って生地を作って縫製までしているものは10%未満です。日本の繊維産業を、私はオーガニックコットンで興していきたい。全国に産地が散らばっているため、それぞれの産地で特徴のあるものを作っています。

プリスティン（アバンティのブランド）のエンプロイダリーワンピースの場合、糸を作っているところは広島県能美島。生地にして織物にしてくれるところが、新潟県長岡市。あらいをかけるのは新潟県見附市。刺繍をつけるのが神奈川県厚木市。縫製するところは岩手県。製品というのは、たくさんの人の手を経て出来上がってくるのです。愛おしくなるでしょう。だから、これをぼろぼろになるまで使ってもらいたい。大事に使うことが実は地球を守ることになると思います。



これから就職活動をする若者へ

みなさんは、就職をするときに、どういうふうな会社を選びますか。企業というのは、社長の志だと思います。「志」とは一代では到底叶えられないような壮大な目的を言います、その志を叶えるための具体的な行動指針になる考え方を「理念」と私は理解しています。理念のない会社は長く続きません。

ただ、日本という国は素晴らしいことに、千年以上続いている会社は7社あります。100年以上続いている会社は2万2千社。会社がこれだけ続くのは、社長が自分の会社だけではなく、周りのことも考えているからです。昔から言う三方よしの考え方です。どれくらい長く会社を継続しようと考えているのかを知ること大切です。



《“S”coolに参加して》

自分の振る舞いが、国境を越えた児童労働や環境破壊に繋がっていることを知りました。作り手と買い手の双方が幸せになれる消費を心がけたいです。買い物をするときは、値段の他にソーシャル・エシカルの視点を加えて商品を選ぼうと思いました。（編集員 高橋とよみ）

編集後記

と、ここまでが創刊号でした。でもなんてことはありません。ただ始まった、それだけのこと。やっていけなくちゃならないことは山のようにあります。これから走り出す僕たちに、どうか暖かい応援のほど宜しくお願いします。

副編集長 高橋遼

まさか創刊号に記事を書くことになるなんて思っていませんでした。うまく表現できませんが、なにかとても感慨深いものがあります。右も左もわからない素人ですが、これからも素人らしくやっていきたいと思っています。

編集員 塩野健介

震災発生1カ月後に1号が創刊。アバンティ・渡邊氏の「夢を持って、ド真剣に」という言葉がまだ心に残っています。福島第1原発に首都圏の電力が支えられ、そのリスクを周辺住民が負っていた事実。自分の生活は誰かの苦の上に成り立っているかもしれない。「ド真剣に」追いかけて記事にします。

編集員 高橋とよみ

創刊直前に起こった東日本大震災。それに伴って創刊号の内容は大きく変わりました。多くの若者たちが自分たちのできることをやろうとする姿を見て、希望が持てましたし、これを機にソーシャルな価値観をもった若者が増えていくと思います。オルタナSでは次号以降も若者たちの震災に対する支援を追いかけます。

編集長 猪鹿倉陽子

夢のなんちゃってライターデビュー。本当はもっと書きたいことがたくさんあった。「じょうたさんは韓国好きだった!」とかね。取材の奥深さを感じつつも、やっぱり記事を書くのは楽しかった。取材に快く応じてくれたじょうたさんに感謝。皆さんぜひ、足を運んでみてくださいね!

編集員 鈴木純

私の住む新潟県十日町市の山奥はまだまだ雪深く、けれど雪解けの隙間から我先にと山菜が芽を出しつつあります。牛さんと鶏さんに囲まれ、米作りの準備も始まりました! これからも里山から情報発信していきますね!

編集員 坂下可奈子

今まで趣味で面白い人にインタビューをしていて、もっと多くの人に発信したいと思っていました。まさかそれが本当に実現するなんてすごく嬉しいです。これからも私の記事を読んで、こんな人いるんだ! こんな世界があるんだ! と思ってもらえるような「!」を広げていきたいなと思います。

編集員 木村絵里

次号特集

※

エシカノは、 社会を変える!!

※

いま注目の“エシカノ”たちが続々登場!!

Sweet Smile 山崎ひな子さん
Ranzuki 専属モデル 鎌田安里紗さん

※ エシカルな女性の略語です。社会に、人に、環境にやさしい女性のことを意味します。

alterna*S vol.1

publisher	森 摂
editor in chief	猪鹿倉 陽子
assistant editor	高橋 遼
editor	木村 絵里 坂下 可奈子 塩野 健介 鈴木 純 高橋 とよみ
designer	高橋 遼
adviser	伊藤 吉幸 加藤 千博 吉田 広子

alterna 株式会社 オルタナ

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-12-7
ワイズ・ワイズビル B1F

タイトル・内容は予告なしに変更することがあります。